

2024年3月期 第3四半期 決算説明会

2024年2月8日

富士フイルム ホールディングス株式会社



本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2024年3月期 第3四半期(2023年4月～12月)

1 | **決算ハイライト及びトピックス**
富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO **後藤禎一**

2 | **連結業績及び事業概況**
富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

2024年3月期

3 | **連結業績予想**
富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口昌之**

富士フイルムグループ創立90周年を迎えて

1月20日
1934年、写真フィルムの国産化を使命に創業以来、変化を恐れず、技術力と多様な人材が持つ知恵を結集し挑戦を続け、さまざまな難局を乗り越えてきた



富士フイルムグループは、1月20日に創立90周年を迎えました。長きにわたる歴史の中で、当社をご支援くださったすべてのステークホルダーの皆さまに心から感謝申し上げます。

祖業の写真関連事業で世の中に変化を起こし、本業喪失の危機を乗り越え、現在の幅広い事業を展開する会社へ変貌を遂げた90年間は、挑戦と努力の歴史でした。これまで困難を突破してきた我々の熱い志は、富士フイルムグループのDNAともいえます。

創立90周年の節目に当たり、富士フイルムグループが一体となりイノベーションを通じて新たな価値を提供していくことを目的に、全事業が共通して目指す未来への指針として、グループパーパスを制定しました。



富士フイルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

FUJIFILM
Value from Innovation

「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」（動画放映）

来たる100周年もその先の未来においても、富士フイルムグループが社会にイノベーティブな価値を提供し続け、持続的に成長していくために、その原動力となるすべての従業員がアスピレーション（志）を持ってこのグループパーパスの実現を目指します。

さまざまなステークホルダーの笑顔を創り出せる会社になることが我々の目指す未来像です。過去の学びを未来につなげ、富士フイルムグループの強みである技術力と多様な人材が持つ知恵を結集し、ヘルスケア、マテリアルズ、ビジネスイノベーション、イメージング、全ての事業を通じて社会課題の解決に貢献するとともに、人々に幸せな笑顔が何度も訪れるよう、これからも挑戦を続けてまいります。

01 2024年3月期 第3四半期 決算ハイライト及びトピックス

2024年3月期 第3四半期 決算ハイライト

2024年3月期 第3四半期 連結業績(9ヶ月)

過去最高
売上高
2兆1,554億円
対前年 ↑+2.9%

過去最高
営業利益
2,049億円
↑+1.1%

過去最高
当社株主帰属
四半期純利益
1,738億円
↑+13.0%

9ヶ月累計

- 売上高、営業利益、当社株主帰属四半期純利益ともに過去最高を更新。
- 売上高及び営業利益は、メディカルシステム、イメージングの販売好調や、為替影響等により増収、増益。
- 当社株主帰属四半期純利益は、営業利益の増加に加え、投資有価証券評価益等により、増益。

第3四半期(3ヶ月)

- 売上高・税金等調整前四半期純利益が過去最高を更新。

2024年3月期 通期連結業績予想

過去最高
売上高
2兆9,500億円

過去最高
営業利益
2,900億円

過去最高
当社株主帰属
当期純利益
2,250億円

- (2023/11/8)
- 通期連結業績予想は、前回予想を据え置き、売上・利益の過去最高更新を目指す。

第3四半期9ヶ月累計の売上高は2兆1,554億円、営業利益は2,049億円、当社株主帰属四半期純利益は1,738億円となりました。

売上高、営業利益、当社株主帰属四半期純利益ともに過去最高を更新しました。

売上高及び営業利益は、メディカルシステム、イメージングの販売好調や、為替影響等により増収、増益となりました。

当社株主帰属四半期純利益は、営業利益の増加に加え、投資有価証券評価益等により、増益となりました。

2024年3月期の通期連結業績予想は、イメージングの好調や、現在の経済環境を見据えて、一部事業で見直しを行います。全体では据え置き、売上高2兆9,500億円、営業利益2,900億円、当社株主帰属当期純利益2,250億円とし、過去最高更新を目指します。

株主還元

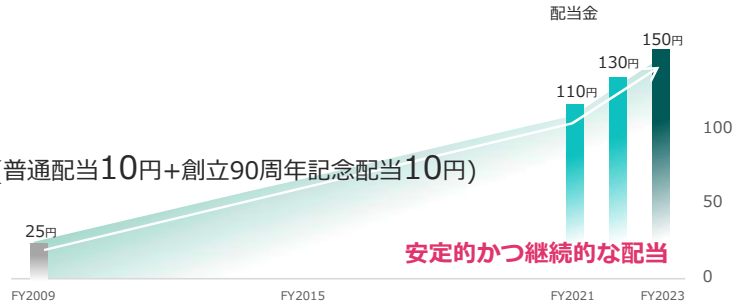
配当金

2024年3月期の年間配当予想

150円/株*

*2024年3月31日を基準日とする株式分割前の株式数を基準に実施

- 14期連続増配
- 前年比20円増配(普通配当10円+創立90周年記念配当10円)



株式分割

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的に、株式分割を実施

分割比率

1 対 **3**

分割基準日 : 2024年3月31日(日)

効力発生日 : 2024年4月1日(月)

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年4月1日(月)を効力発生日として、当社定款第6条に定める発行可能株式総数を変更いたします。詳細については、2024年2月8日付け適時開示「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

2025年3月期の配当について

2025年3月期(2024年度)の中間配当から、株式分割後の株式数を基準に実施

2024年3月期の年間配当は、前回お伝えしました通り、創立90周年記念配当10円を含む、14期連続増配となる1株当たり150円を予定します。

また、本日、投資単位の引き下げにより、より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的に実施する「株式分割」を決定しました。

分割の方法は、2024年3月31日を基準日として、同日付の株主の所有する当社普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割します。なお、2024年3月期の配当は、株式分割前の株式数を基準にしたものであり、2025年3月期の中間配当から、株式分割後の株式数を基準に実施します。

2024年3月期 第3四半期 決算トピックス 1/3

電子材料

イメージセンサー用
カラーフィルター材料イメージセンサーに用いるカラーフィルターを製造するために必要な着色感光材料製品
現在「Wave Control Mosaic (WCM)」として展開熊本拠点に約60億円を投資し、イメージセンサー用カラーフィルター材料の生産設備を導入^{*1}
世界4拠点の生産体制の下、トップメーカーとしての供給責任を果たし、売上拡大を目指す^{*1} 熊本県に立地する当社生産子会社の富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社九州エリア (FFMT九州) に導入

イメージセンサー用カラーフィルター材料市場



生産能力拡大

- ① 約1,000社の半導体関連企業が集積する九州に設備を新設
- ② ものづくり産業の持続的成長に取り組む熊本県・自治体のバックアップ
- ③ ディスプレイ材料、CMPスラリー^{*2}を製造するFFMT九州(菊陽町)の用地・人材を活用

^{*2} Chemical Mechanical Polishing (化学的機械研磨) の略。
2024年1月から本格稼働 [Next page](#)

当社シェア及び製造拠点

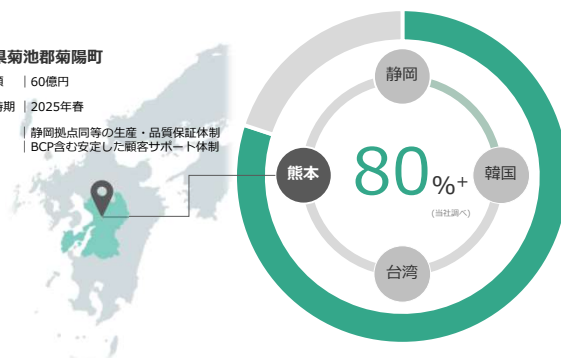
高い品質基準を求められる当製品を安定的に生産・提供し、
トップメーカーとしての供給責任を果たす

熊本県菊池郡菊陽町

投資額 | 60億円

稼働時期 | 2025年春

特長

静岡拠点同等の生産・品質保証体制
BCP含む安定した顧客サポート体制

FUJIFILM Holdings Corporation 8

次に、第3四半期のトピックスをお話しします。

一つ目は、電子材料事業で1月に発表しました、イメージセンサー用カラーフィルター材料の生産能力の増強についてです。

近年、自動車やセキュリティ機器などへの用途がますます広がる中、イメージセンサー市場は年率約7%で成長することが見込まれています。

当社は、イメージセンサー用カラーフィルター材料を静岡と、台湾で生産、加えて、韓国でも同製品の工場の建設を進めています。

さらに今回、半導体関連企業が集積する九州の熊本県に立地する当社生産子会社に、最新鋭の生産設備と半導体用の高度なクリーンルームを導入し、生産能力を増強するとともに、静岡拠点と同様の生産・品質保証体制とし、BCP対応を強化します。

新たに構築するこの世界4拠点の生産体制のもと、イメージセンサー用カラーフィルター材料で80%以上の世界シェアを有するトップメーカーとして、高い品質基準で生産・提供し、売上拡大を目指します。

2024年3月期 第3四半期 決算トピックス 2/3

電子材料

CMPスラリー

CAGR
+10%硬さの異なる配線や絶縁膜が混在する半導体表面を均一に平坦化する研磨材
CMP : Chemical Mechanical Polishing (化学的機械研磨) の略

半導体製造プロセスの基幹材料であるCMPスラリーを生産する最新鋭設備が熊本拠点で本格稼働*
グローバルでの安定供給と品質に対する顧客要求に応え続けることで、CMPスラリーの売上を拡大させる

* 熊本県に立地する当社生産子会社の富士フイルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社九州エリア (FFMT九州) に導入

九州で加速する半導体関連の投資

日本における半導体の一大生産拠点である九州



半導体関連企業の積極的な誘致を進める熊本県



FFMT九州への半導体関連設備投資

ディスプレイ材料の生産で蓄積してきたモノづくり力を
半導体材料の生産に活用



FUJIFILM Holdings Corporation 9

また、この熊本拠点で導入を進めてきた、半導体製造プロセスの基幹材料であるCMPスラリーの生産設備を1月25日から本格稼働させました。

集積回路生産金額の全国シェア50%以上を占め、日本の半導体産業成長の一翼を担っている九州は、近年、投資が活発化し、シリコンアイランド再興の機運が高まっています。

中でも熊本県は、「くまもと半導体産業推進ビジョン」のもと、半導体産業を重要な分野として位置付け、企業誘致や産学官連携による技術開発等の積極的な推進に加えて、豊富な水資源や、交通アクセスの利便性などのメリットも加わり、企業による設備投資が集中しています。

当社はこの熊本県の菊池郡菊陽町に、2005年にディスプレイ材料の中核生産拠点を設立し、ディスプレイ産業の成長を支えるとともに、高品質・高効率生産を実現するモノづくり力や技術力を蓄積してきました。

今後はそれらを活かし、半導体材料の生産を通じて当社の持続的成長を牽引するとともに、国内半導体サプライチェーンの強靱化の一翼を担い、九州、さらには日本の半導体産業の発展に貢献していきます。

2024年3月期 第3四半期 決算トピックス 3/3

ライフサイエンス

2024年1月
BlueRock Therapeutics社へiPS細胞を用いた眼疾患治療法の開発・商業化に関するライセンスを供与
iPS細胞技術の可能性を最大限に活かし、眼疾患を対象としたベスト・イン・クラスの細胞治療法の創出を目指す

2021年(オプション契約)

iPS細胞を用いた眼科治療法の研究開発
における戦略的提携

加齢黄斑変性症と網膜色素変性症を対象とした3つの網膜疾患プログラム
の独占ライセンスを取得するオプション権の付与

眼疾患の克服を目指して

眼科治療の
特長

- ✓ 少ない細胞量
- ×
- ✓ 眼は免疫寛容部位
(移植組織が拒絶されにくい)
- ×
- ✓ 容易なアクセス

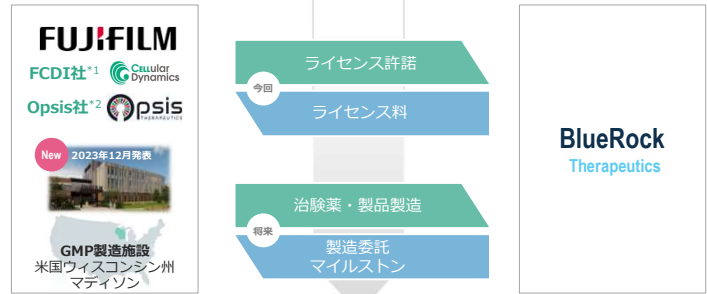
iPS細胞治療の
メリット

- ✓ 大量生産 & 低コスト
- ×
- ✓ 少ないドナー間差
- ×
- ✓ 治療までのリード
タイム短縮

今回(ライセンス契約)

*1 FCDI社 | FUJIFILM Cellular Dynamics, Inc
*2 Opsis社 | Opsis Therapeutics, LLC

BlueRock Therapeutics社が網膜色素変性症を対象とする
プログラムのオプション権を行使



将来の開発・製造受託(CDMO)サービスに繋げ
リカーリング型のビジネスモデルを確立する

FUJIFILM Holdings Corporation 10

続いて、ライフサイエンス事業についてです。

2014年にiPS細胞からつくった細胞を初めてヒトの患者に移植する症例となったのが眼の疾患でした。それは「少ない細胞量」「免疫寛容部位」「体表にあるため容易なアクセス」といった眼科治療の特長と、「大量生産・低コストが可能」「少ないドナー間差」「製造リードタイムの短縮」といったiPS細胞のメリットを掛け合わせたiPS細胞を用いた眼疾患治療法であり、その確立に大きな期待が寄せられています。

これを背景に2021年に、当社の米国子会社が有する3つの網膜疾患治療プログラムの独占ライセンスを取得できる「オプション権」を、ブルーロック・セラピューティクス社 (BlueRock Therapeutics)に付与しました。そして今回、ブルーロック社が、3つのプログラムの中から、網膜色素変性症を対象とする治療プログラムのオプション権を行使したことに伴い、同社からライセンス料を1月に受領しました。

当社は、iPS細胞を用いた新たな治療法を開発する企業に対して、関連特許のライセンス供与を行うことで、ロイヤルティや開発進度に応じたマイルストーン収入を得ながら、治験薬・商業製造の受託サービスに繋げるビジネスモデルを確立していきます。昨年12月に発表した、米国ウィスコンシン拠点への細胞治療薬用の製造設備の投資も、その一環です。

今後も、iPS細胞を用いた新たな治療法を開発する企業と連携し、次世代のiPS細胞由来の治療法開発に取り組んでいきます。

2024年4月から始まる次期中期経営計画に向けて



最後に、中期経営計画についてです。

売上・利益目標を1年前倒しで達成した現中期経営計画「VISION2023」は、最終コーナーに入り、4月からは、2026年度を最終年度とする新中期経営計画をスタートさせます。

次期中期経営計画は、VISION2023で定めた「ヘルスケア・高機能材料の成長加速と、持続的な成長を可能とするさらに強靱な事業基盤の構築」をより一層強力に推進することで、「稼げる力」を高め、2030年度をゴールとする長期CSR計画「SVP2030(Sustainable Value Plan 2030)」の達成を目指します。

「稼げる力」を高めて獲得した利益は、次の三つの取り組みに活用します。

一つは、事業の持続的成長につながる再投資。

次に、環境、人権尊重、サプライチェーンマネジメントなどESG課題に取り組むための原資。さらに、人材育成、よりよい労働環境の整備、賃金引き上げなど、従業員の働きがいや能力発揮につながる取り組みの原資。

これらの取り組みを通じて「稼げる力」をさらに強化し、企業価値の向上につなげていきます。

次期中期経営計画の具体的な内容は、4月中旬に発表いたします。

02 2024年3月期 第3四半期 連結業績及び事業概況

2024年3月期 第3四半期 業績 (2023年4月～2023年12月)

(単位：億円)

	9ヶ月				
	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響 除く
売上高	20,943 100.0%	21,554 100.0%	611 +2.9%	597	14 +0.1%
営業利益	2,026 9.7%	2,049 9.5%	23 +1.1%	141	-118 -5.8%
税金等調整前四半期純利益	2,048 9.8%	2,297 10.7%	249 +12.1%	159	90 +4.4%
当社株主帰属四半期純利益	1,537 7.3%	1,738 8.1%	201 +13.0%	110	91 +5.9%
1株当たり当社株主帰属四半期純利益	383.43円	433.08円	49.65円	<その他増減要因 (対前年度)> 営業利益における 原材料価格影響： 2億円 (半導体等の部材価格は含まず)	
為替 ：米ドル	137円	144円	7円安		
：ユーロ	141円	156円	15円安		

FUJIFILM Holdings Corporation 13

2024年3月期 第3四半期累計の業績は、

売上高は、メディカルシステムやイメージングの販売好調や、為替の円安影響により、前年比2.9%増の2兆1,554億円となりました。

営業利益は、電子材料で市況軟化の影響を受けた中でも、増収による増益、及び為替影響などで前年比1.1%増の2,049億円となりました。

当社株主帰属四半期純利益は、営業利益の増加に加え、投資有価証券評価益の計上などにより、前年比13.0%増の1,738億円となりました。

セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

売上高	9ヶ月		対前年度			
	2023年 3月期	2024年 3月期			為替影響除く	
ヘルスケア	6,418	6,907	489	+7.6%	264	+4.1%
※ マテリアルズ	5,147	4,947	-200	-3.9%	-346	-6.7%
ビジネスイノベーション	6,141	6,014	-127	-2.1%	-208	-3.4%
イメージング	3,237	3,686	449	+13.8%	304	+9.4%
合計	20,943	21,554	611	+2.9%	14	+0.1%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	9ヶ月		対前年度			
	2023年 3月期	2024年 3月期			為替影響除く	
ヘルスケア	622	603	-19	-3.2%	-45	-7.3%
※ マテリアルズ	579	314	-265	-45.8%	-303	-52.4%
ビジネスイノベーション	478	504	26	+5.5%	18	+3.8%
イメージング	627	889	262	+41.7%	192	+30.6%
全社/連結調整	-280	-261	19	-	20	-
合計	2,026	2,049	23	+1.1%	-118	-5.8%

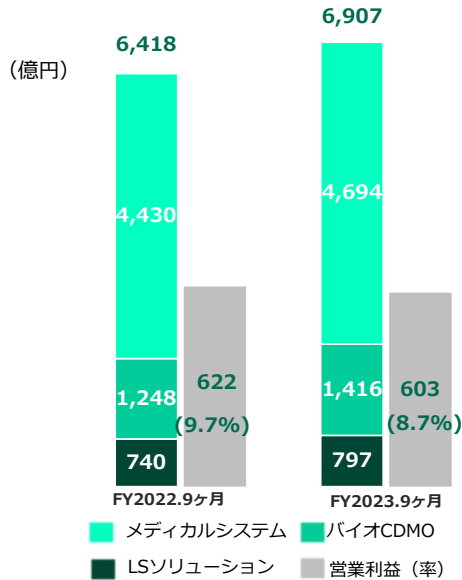
※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

セグメント別の売上高・営業利益はご覧の通りです。

2024年3月期 第3四半期(2023年4月~12月)

セグメント別概況：ヘルスケア

全サブセグメントにおいて増収となり、売上高対前年+7.6%、営業利益はバイオCDMOで前年度に計上したキャンセルフィーの反動等により、対前年-3.2%で着地。



メディカルシステム

売上高 4,694億円 (対前年+5.9%)

- 内視鏡、CT/MRI等の販売が好調に推移し、増収。内視鏡では、日本・欧州・中国等で販売が伸長。CT/MRIでは、中南米や中東、インドでの販売が伸長したこと等により、好調に推移。

バイオCDMO

売上高 1,416億円 (対前年+13.5%)

- 抗体医薬品の製造受託がデンマーク拠点を中心に堅調に推移したことに加え、生産性向上等が寄与し、増収。
- バイオベンチャーの資金調達難を背景とした遺伝子治療薬等の市況停滞の長期化を受け、使用を見込んでいた部材の有効期限切迫により、棚卸資産評価減を第3四半期に計上。

LSソリューション

売上高 797億円 (対前年+7.8%)

- ライフサイエンスは、バイオ医薬品製造用培地の原材料需給逼迫が改善し、出荷が進んだことや、創薬支援用の細胞販売が堅調に推移したこと等により、増収。
- コロナワクチン用培地などに使用する一部原材料の評価減を第1四半期に計上。

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

FUJIFILM Holdings Corporation 15

ヘルスケアの業績の概要を説明します。

全サブセグメントにおいて増収を確保したことにより、売上高は、前年比7.6%増の6,907億円、営業利益は、バイオCDMO、LSソリューションでの棚卸資産評価減に加えて、バイオCDMOで前年度に計上したキャンセルフィーの反動などにより減益となり、前年比3.2%減の603億円となりました。

メディカルシステムは、内視鏡、CT/MRIなどの販売が好調に推移し、売上が増加しました。内視鏡では、日本・欧州・中国等で販売が伸長しました。CT/MRIでは、中南米や中東、インドでの販売が伸長したこと等により、好調に推移しました。

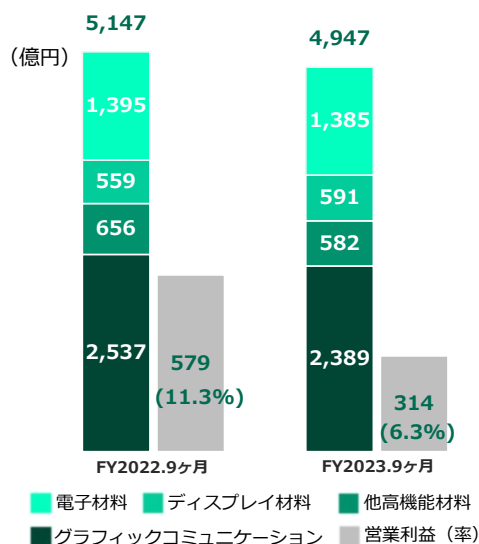
バイオCDMOは、抗体医薬品の製造受託がデンマーク拠点を中心に堅調に推移したことに加え、デンマーク拠点での生産性向上等により、売上が増加しました。一方で、バイオベンチャーの資金調達難を背景とした遺伝子治療薬等の市況停滞の長期化を受けて、使用を見込んでいた部材の有効期限切迫により、棚卸資産評価減を第3四半期に計上しました。

LSソリューションは、バイオ医薬品用培地の原材料需給逼迫が改善し、出荷が進んだことや、創薬支援用の細胞販売が堅調に推移したことなどにより、売上が増加しました。一方で、コロナ禍における調達リードタイム長期化をうけて先行確保した、コロナワクチン用培地などに使用する一部原材料が、有効期限切迫となり評価減を第1四半期に計上しました。

2024年3月期 第3四半期(2023年4月～12月)

セグメント別概況：マテリアルズ

半導体市況の停滞や印刷材料の需要減少等により、売上高対前年-3.9%、営業利益対前年-45.8%の減収・減益で着地。



電子材料 売上高 1,385億円 (対前年-0.7%)

- 2023年10月に米国Entegris社から買収を完了した半導体用プロセスケミカルの販売が寄与したものの、半導体市場の市況軟化の影響等を受け、前年並みの売上。

ディスプレイ材料 売上高 591億円 (対前年+5.6%)

- サプライチェーン全体での生産調整があった前年に対して、増収。

他高機能材料 売上高 582億円 (対前年-11.3%)

- 業務用PCの需要低迷を受けたタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売減等により、減収。

グラフィックコミュニケーション 売上高 2,389億円 (対前年-5.8%)

- 刷版材料において、欧米を中心とした印刷物需要減の影響などにより、減収。
- インクジェットにおいて、セラミック市場向けインクジェットヘッドの販売が、中国の不動産市場における需要低迷の影響を受けたこと等により、減収。

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリセットしています。

マテリアルズの業績の概要を説明します。

半導体市況の停滞やインクジェットヘッドの販売減少などにより、売上高は、前年比3.9%減の4,947億円、営業利益は、前年比45.8%減の314億円となりました。

電子材料は、半導体市場の市況軟化の影響を受けたものの、2023年10月に米国Entegris社から買収を完了した半導体用プロセスケミカル事業が寄与し、前年並みの売上となりました。

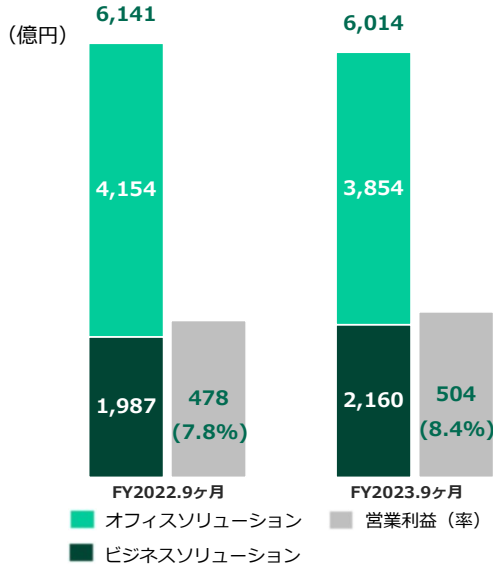
ディスプレイ材料は、サプライチェーン全体での生産調整があった前年に対して、パネルメーカーの稼働が回復し、売上が増加しました。

グラフィックコミュニケーションは、刷版材料分野において欧米を中心とした印刷物需要の減少影響などにより、売上が減少しました。インクジェットでは、セラミック市場向けインクジェットヘッドの販売が、中国の不動産市場における需要低迷の影響を受けたこと等により、売上が減少しました。

2024年3月期 第3四半期(2023年4月～12月)

セグメント別概況：ビジネスイノベーション

ビジネスソリューションは好調に推移するも、オフィスソリューションの減収等により、
売上高対前年-2.1%、営業利益は対前年+5.5%と減収・増益で着地。



オフィスソリューション 売上高 3,854億円 (対前年-7.2%)

- 新規OEMの拡大やワールドワイドでの価格改定等を実施するも、供給制約の解消によりバックログの解消が大幅に進んだ前年に比べ、欧米向けの輸出が減少したこと等により、減収。
- 2023年12月に、デジタル複合機・プリンター「Apeos」シリーズ※が米国セキュリティ基準「NIST SP800-171/172」への準拠性を示す情報セキュリティ格付けにて、2年連続で最高評価「AAais」を取得。

※ ApeosPro C810 / C750 / C650, Apeos C8180 / C7580 / C6580, Apeos C4030 / C3530, Apeos C7070 / C6570 / C4570 / C3070 / C2570, Apeos C2360 / C2060, Apeos C5240, Apeos 7580 / 6580 / 5580, Apeos 4570 / 3570, Apeos 3060 / 2560 / 1860, Apeos 6340, Apeos 5330, ApeosPrint C5570 / C4570, ApeosPrint C5240, ApeosPrint 4560 S / 3960 S / 3360 S, ApeosPrint 6340, ApeosPrint C4030 / C3530, ApeosPrint 4830 / 4830 JM

ビジネスソリューション 売上高2,160億円 (対前年+8.7%)

- DX関連ソリューションの販売や国内自治体向けの売上が増加したこと等により、増収。
- 本年4月に、株式会社サーバーワークスとの合併会社「富士フィルムクラウド」を設立し、日本で営業を開始。中堅・中小企業向けを中心に、Microsoft AzureおよびAmazon Web Services (AWS) などのクラウドサービスの導入支援・運用保守サービスを提供。

ビジネスイノベーションの業績の概要を説明します。

オフィスソリューションの減収などにより、
売上高は、前年比2.1%減の6,014億円、
営業利益は、ワールドワイドでの価格改定の効果などにより、
前年比5.5%増の504億円となりました。

オフィスソリューションは、新規OEMの拡大やワールドワイドでの価格改定などを行いましたが、供給制約の解消によりバックログの解消が大幅に進んだ前年に比べ、欧米向けの輸出が減少したことなどにより、売上が減少しました。

昨年12月には、「Apeos」シリーズが2年連続で米国セキュリティ基準「NIST SP800-171/172」への準拠性を示す情報セキュリティ格付けにて最高評価「AAais」を取得しました。

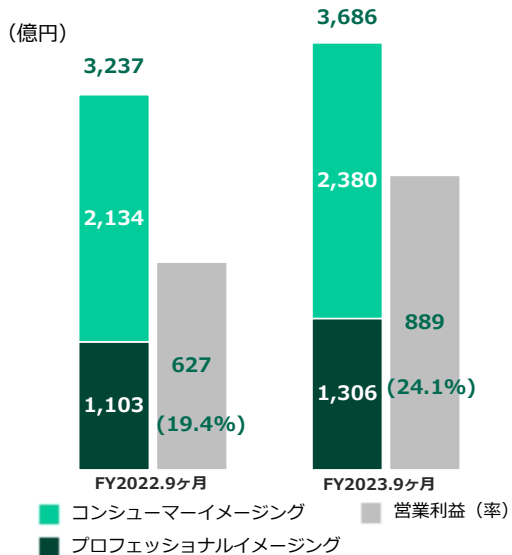
ビジネスソリューションは、DX関連ソリューションの販売が増加したことや国内で自治体向けの売上が増加したこと等により、増収となりました。

本年4月に、株式会社サーバーワークスとの合併会社「富士フィルムクラウド」を設立し、日本で営業を開始します。富士フィルムクラウドでは、中堅・中小企業のお客様を中心にMicrosoft AzureおよびAmazon Web Servicesなどのクラウドサービスの導入支援・運用保守を実施してまいります。

2024年3月期 第3四半期(2023年4月～12月)

セグメント別概況：イメージング

インスタントフォトシステムやデジタルカメラの販売が好調に推移し、売上高対前年+13.8%、営業利益率対前年+41.7%と増収・増益で着地。



コンシューマーイメージング

売上高 2,380億円 (対前年+11.5%)

- ・ インスタントフォトシステムの販売が伸長し、増収。
- ・ 従来の製品ラインアップに加え、「INSTAX mini Evo」や、2023年10月に発売した“手のひらサイズカメラ”「INSTAX Pal」を中心に付加価値の高い製品が好調に推移。

プロフェッショナルイメージング

売上高 1,306億円 (対前年+18.4%)

- ・ デジタルカメラは、前年度に発売した「X-H2」「X-H2S」「X-T5」に加え、2023年6月に発売した「X-S20」、同年9月に発売した「GFX100 II」の販売も好調に推移し、増収。
- ・ 2023年10月に、最先端の光学技術・画像処理技術・AIによってトンネル点検業務の効率化を実現する「トンネル点検DXソリューション」の提供を開始。

イメージングの業績の概要を説明します。

インスタントフォトシステムやデジタルカメラの販売が好調に推移し、売上高は、前年比13.8%増の3,686億円、営業利益は、前年比41.7%増の889億円となりました。

コンシューマーイメージングでは、インスタントフォトシステムINSTAXの販売が好調で、売上が増加しました。従来の製品ラインアップに加え「INSTAX mini Evo」や、2023年10月に発売した“手のひらサイズカメラ”「INSTAX Pal」を中心に付加価値の高い製品が好調に推移しました。

プロフェッショナルイメージングでは、前年度に発売した「X-H2」「X-H2S」「X-T5」に加え、2023年6月に発売した「X-S20」、同年9月に発売した「GFX100 II」の販売も好調に推移し、増収となりました。2023年10月には、最先端の光学技術・画像処理技術・AIによってトンネル点検業務の効率化を実現する「トンネル点検DXソリューション」の提供を開始しました。

2024年3月期 第3四半期(2023年4月～12月)

連結貸借対照表

					(単位：億円)				
	22年 3月期末	23年 3月期末	24年3月期 12月末	対23年 3月期末		22年 3月期末	23年 3月期末	24年3月期 12月末	対23年 3月期末
現金及び現金同等物	4,863	2,686	2,429	-257	長短社債及び借入金	4,472	3,762	6,093	2,331
受取債権	5,986	6,331	6,250	-81	支払債務	3,032	3,204	3,259	55
棚卸資産	5,045	5,673	5,993	320	その他流動・固定負債	6,800	6,498	6,390	-108
その他流動資産	1,353	1,621	1,564	-57	負債計	14,304	13,464	15,742	2,278
流動資産計	17,247	16,311	16,236	-75	株主資本計	25,027	27,631	29,714	2,083
有形固定資産	7,368	9,761	12,564	2,803	非支配持分	222	248	34	-214
営業権	8,240	8,583	9,543	960	純資産計	25,249	27,879	29,748	1,869
その他固定資産	6,698	6,688	7,147	459	負債・純資産合計	39,553	41,343	45,490	4,147
固定資産計	22,306	25,032	29,254	4,222	(単位：円)				
資産合計	39,553	41,343	45,490	4,147	期末日 為替レート	22年 3月期末	23年 3月期末	24年3月期 12月末	対23年 3月期末
					米ドル	122	134	142	8円安
					ユーロ	137	146	157	11円安

FUJIFILM Holdings Corporation 19

バランスシートについて説明します。

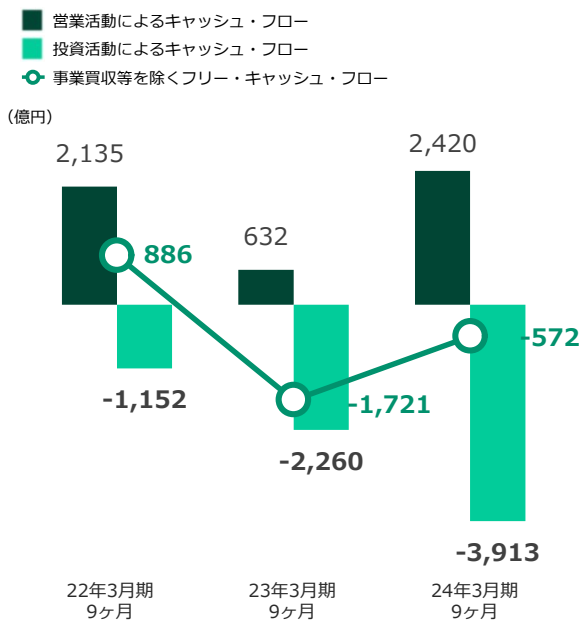
2024年3月期12月末時点の資産合計は、有形固定資産の増加などにより、2023年3月期末時点と比べ、4,147億円増の4兆5,490億円となりました。

負債は、2,278億円増の1兆5,742億円となりました。

株主資本は、2,083億円増の2兆9,714億円となりました。

2024年3月期 第3四半期(2023年4月~12月)

連結キャッシュ・フロー



(単位: 億円)

	22年3月期 9ヶ月	23年3月期 9ヶ月	24年3月期 9ヶ月
当期純利益	1,604	1,549	1,730
減価償却費	977	1,067	1,101
受取債権の増(-)減(+)	354	-468	334
棚卸資産の増(-)減(+)	-661	-1,083	-66
営業債務の増(+)-減(-)	79	95	-134
その他	-218	-528	-545
営業活動によるCF	2,135	632	2,420
設備投資	-909	-1,910	-2,990
ソフトウェアの購入	-270	-356	-330
投資有価証券の売却・購入等	97	247	118
事業買収	0	-154	-1,039
その他	-70	-87	328
投資活動によるCF	-1,152	-2,260	-3,913
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	983	-1,628	-1,493
事業買収等を除くFCF※	886	-1,721	-572

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収、及び投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

キャッシュ・フローについて説明します。

営業活動によるキャッシュ・フローは、当期純利益が増加したほか、前年同期は部材の需給逼迫に備えるために一時的に積み増した棚卸資産を、今年度はサプライチェーンの改善により適正化したことや、前年度後半に販売好調だったことで増加した受取債権の回収が進んだこと等により、前年に対し1,788億円増加し、2,420億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、バイオCDMOを中心とする設備投資の拡大により、前年に対し1,653億円増加し、3,913億円の支出となりました。

この結果、事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フローは、572億円の支出となりました。

2024年3月期 第3四半期 決算の説明は以上です。

03 2024年3月期 連結業績予想

2024年3月期 通期連結業績予想

(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期 前回予想 (2023/11/8公表値)	2024年3月期 今回予想 (2024/2/8公表値)	対前年度	対前回予想
売上高	28,590 100%	29,500 100%	過去 最高 29,500 100%	910 +3.2%	-
営業利益	2,731 9.6%	2,900 9.8%	過去 最高 2,900 9.8%	169 +6.2%	-
税金等調整前当期純利益	2,822 9.9%	2,950 10.0%	過去 最高 2,950 10.0%	128 +4.5%	-
当社株主帰属当期純利益	2,194 7.7%	2,250 7.6%	過去 最高 2,250 7.6%	56 +2.5%	-
1株当たり当社株主帰属当期純利益 ^(※)	547.21円	560.63円	560.61円	+13.40円	-0.02円
ROE	8.3%	8.0%	8.0%	-0.3%	-
ROIC	6.1%	5.9%	5.9%	-0.2%	-
CCC	125日	111日	111日	-14日	-
為替 ：米ドル	136円	138円	144円	8円安	6円安
：ユーロ	141円	149円	155円	14円安	6円安
銀価格 (/kg)	93,000円	106,000円	108,000円	+15,000円	+2,000円

※ 1株当たり当社株主帰属当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年12月31日現在の発行株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

2024年3月期の通期連結業績予想は、冒頭に後藤からお伝えしました通り、売上高は2兆9,500億円、営業利益は2,900億円、当社株主帰属当期純利益は2,250億円と、前回予想を据え置き、過去最高の更新を目指します。

セグメント別業績予想

(単位：億円)

売上高	2023年3月期	2024年3月期 前回予想 (2023/11/8公表値)	2024年3月期 今回予想 (2024/2/8公表値)	対前回予想		為替影響除く	
				対前	対前	対前	対前
ヘルスケア	9,286	9,700	9,700	-	-	-160	-1.6%
※ マテリアルズ	6,820	6,950	6,870	-80	-1.2%	-180	-2.6%
ビジネスイノベーション	8,381	8,400	8,300	-100	-1.2%	-140	-1.7%
イメージング	4,103	4,450	4,630	180	4.0%	80	1.8%
合計	28,590	29,500	29,500	-	-	-400	-1.4%

(単位：億円)

営業利益	2023年3月期	2024年3月期 前回予想 (2023/11/8公表値)	2024年3月期 今回予想 (2024/2/8公表値)	対前回予想		為替影響除く	
				対前	対前	対前	対前
ヘルスケア	1,028	1,120	1,120	-	-	-40	-3.6%
※ マテリアルズ	654	500	450	-50	-10.0%	-70	-14.0%
ビジネスイノベーション	695	780	710	-70	-9.0%	-65	-8.3%
イメージング	729	880	980	100	11.4%	65	7.4%
全社/連結調整	-375	-380	-360	20	-	20	-
合計	2,731	2,900	2,900	-	-	-90	-3.1%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリセットしています。

セグメント別業績予想はご覧の通りです。

第3四半期の実績や足元の事業状況、今後の市場環境を鑑みて、セグメント別の売上高及び営業利益を修正します。

売上高、営業利益ともに、イメージングを上方修正する一方で、高機能材料・グラフィックコミュニケーション共に市況軟化の影響を受けているマテリアルズと、欧米向け輸出が減少したビジネスイノベーションを下方修正します。

セグメント別売上高の修正の詳細は、32ページをご参照ください。

04 2024年3月期 第3四半期 決算 参考資料

3Q | 9ヶ月 業績

(単位：億円)

	3Q					9ヶ月				
	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響 除く	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響 除く
売上高	7,444 100.0%	7,669 100.0%	225 +3.0%	234	-9 -0.1%	20,943 100.0%	21,554 100.0%	611 +2.9%	597	14 +0.1%
営業利益	818 11.0%	794 10.4%	-24 -3.0%	54	-78 -9.6%	2,026 9.7%	2,049 9.5%	23 +1.1%	141	-118 -5.8%
税金等調整前四半期純利益	753 10.1%	776 10.1%	23 +3.1%	69	-46 -6.1%	2,048 9.8%	2,297 10.7%	249 +12.1%	159	90 +4.4%
当社株主帰属四半期純利益	585 7.9%	602 7.8%	17 +2.8%	48	-31 -5.4%	1,537 7.3%	1,738 8.1%	201 +13.0%	110	91 +5.9%
為替 ：米ドル	141円	148円	7円安			137円	144円	7円安		
：ユーロ	144円	159円	15円安			141円	156円	15円安		

<その他増減要因 (3Q/9ヶ月累計 対前年度)>

営業利益における原材料価格影響： 7億円/2億円

3Q | 9ヶ月 業績 : セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位: 億円)

売上高	3Q					9ヶ月						
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		
ヘルスケア	2,206	2,425	219	+10.0%	139	+6.3%	6,418	6,907	489	+7.6%	264	+4.1%
※ マテリアルズ	1,678	1,751	73	+4.4%	20	+1.2%	5,147	4,947	-200	-3.9%	-346	-6.7%
ビジネスイノベーション	2,157	1,999	-158	-7.3%	-194	-9.0%	6,141	6,014	-127	-2.1%	-208	-3.4%
イメージング	1,403	1,494	91	+6.5%	26	+1.8%	3,237	3,686	449	+13.8%	304	+9.4%
合計	7,444	7,669	225	+3.0%	-9	-0.1%	20,943	21,554	611	+2.9%	14	+0.1%

*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

(単位: 億円)

営業利益 【営業利益率】	3Q					9ヶ月						
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		
ヘルスケア	177 [8.0%]	185 [7.6%]	8	+3.9%	-5	-3.2%	622 [9.7%]	603 [8.7%]	-19	-3.2%	-45	-7.3%
※ マテリアルズ	194 [11.6%]	128 [7.3%]	-66	-34.6%	-77	-40.3%	579 [11.3%]	314 [6.3%]	-265	-45.8%	-303	-52.4%
ビジネスイノベーション	177 [8.2%]	174 [8.7%]	-3	-1.5%	-8	-4.5%	478 [7.8%]	504 [8.4%]	26	+5.5%	18	+3.8%
イメージング	361 [25.7%]	395 [26.4%]	34	+9.4%	8	+2.2%	627 [19.4%]	889 [24.1%]	262	+41.7%	192	+30.6%
全社/連結調整	-91	-88	3	-	4	-	-280	-261	19	-	20	-
合計	818 [11.0%]	794 [10.4%]	-24	-3.0%	-78	-9.6%	2,026 [9.7%]	2,049 [9.5%]	23	+1.1%	-118	-5.8%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

FUJIFILM Holdings Corporation 26

3Q | 9ヶ月 業績 : ヘルスケア

(単位: 億円)

売上高	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
※ メディカルシステム	1,553	1,647	94	+6.0%	44	+2.9%	4,430	4,694	264	+5.9%	130	+2.9%
バイオCDMO	395	502	107	+27.4%	83	+21.3%	1,248	1,416	168	+13.5%	96	+7.7%
LSソリューション	258	276	18	6.9%	12	+4.5%	740	797	57	+7.8%	38	+5.2%
合計	2,206	2,425	219	+10.0%	139	+6.3%	6,418	6,907	489	+7.6%	264	+4.1%

*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	177 [8.0%]	185 [7.6%]	8	+3.9%	-5	-3.2%	622 [9.7%]	603 [8.7%]	-19	-3.2%	-45	-7.3%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリセットしています。

3Q | 9ヶ月 業績 : マテリアルズ

(単位 : 億円)

売上高	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
電子材料	464	550	86	+18.4%	62	+13.2%	1,395	1,385	-10	-0.7%	-68	-4.9%
ディスプレイ材料	170	189	19	+11.1%	19	+11.1%	559	591	32	+5.6%	32	+5.6%
※ 他高機能材料	204	201	-3	-1.5%	-7	-3.7%	656	582	-74	-11.3%	-88	-13.5%
グラフィックコミュニケーション	840	811	-29	-3.3%	-54	-6.2%	2,537	2,389	-148	-5.8%	-222	-8.7%
合計	1,678	1,751	73	+4.4%	20	+1.2%	5,147	4,947	-200	-3.9%	-346	-6.7%

*セグメント間取引消去後

(単位 : 億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
マテリアルズ	194 [11.6%]	128 [7.3%]	-66	-34.6%	-77	-40.3%	579 [11.3%]	314 [6.3%]	-265	-45.8%	-303	-52.4%

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

3Q | 9ヶ月 業績 : ビジネスイノベーション

(単位 : 億円)

売上高	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
オフィスソリューション	1,485	1,283	-202	-13.6%	-228	-15.4%	4,154	3,854	-300	-7.2%	-365	-8.8%
ビジネスソリューション	672	716	44	+6.7%	34	+5.2%	1,987	2,160	173	+8.7%	157	+7.9%
合計	2,157	1,999	-158	-7.3%	-194	-9.0%	6,141	6,014	-127	-2.1%	-208	-3.4%

*セグメント間取引消去後

(単位 : 億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ビジネスイノベーション	177 [8.2%]	174 [8.7%]	-3	-1.5%	-8	-4.5%	478 [7.8%]	504 [8.4%]	26	+5.5%	18	+3.8%

3Q | 9ヶ月 業績：イメージング

(単位：億円)

売上高	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			金額	増減率	金額	増減率			金額	増減率	金額	増減率
コンシューマーイメージング	943	1,025	82	+8.7%	30	+3.3%	2,134	2,380	246	+11.5%	133	+6.2%
プロフェッショナルイメージング	460	469	9	+1.9%	-4	-1.1%	1,103	1,306	203	+18.4%	171	+15.4%
合計	1,403	1,494	91	+6.5%	26	+1.8%	3,237	3,686	449	+13.8%	304	+9.4%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q						9ヶ月					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			金額	増減率	金額	増減率			金額	増減率	金額	増減率
イメージング	361 [25.7%]	395 [26.4%]	34	+9.4%	8	+2.2%	627 [19.4%]	889 [24.1%]	262	+41.7%	192	+30.6%

営業利益増減分析(9ヶ月累計実績 対前年実績)

	9ヶ月累計		(単位:億円)					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替	原材料価格	一時費用	オペレーション等
※4 ヘルスケア	622	603	-19	-3.2%	26	-13	-34	2
マテリアルズ	579	314	-265	-45.8%	38	13	-46	-270
ビジネスイノベーション	478	504	26	+5.5%	8	4	73	-59
イメージング	627	889	262	+41.7%	70	-2	-16	210
全社/連結調整	-280	-261	19	-	-1	-	-	20
合計	2,026	2,049	23	+1.1%	※1 141	※2 2	※3 -23	-97

※3: 一時費用明細

(単位:億円)

※1: 為替レート

	2023年 3月期 9ヶ月	2024年 3月期 9ヶ月
米ドル	137円	144円
ユーロ	141円	156円

※2: 原材料別(半導体影響は除く)

	9ヶ月累計
銀	-27
アルミ	15
他(燃料等)	14
合計	2

	2023年 3月期 9ヶ月	2024年 3月期 9ヶ月	差異
ヘルスケア	62	96	-34
新規買収会社(CDMO)	55	-	55
棚卸資産評価減等(CDMO/LS)	-	70	-70
その他	7	26	-19
マテリアルズ	-9	37	-46
新規買収会社(電子材料)	-	18	-18
グラフィック/インクジェット等	-9	19	-28
ビジネスイノベーション	73	-	73
体質強化費用	49	-	49
新ブランド移行費用	24	-	24
イメージング	-5	11	-16
体質強化費用等	-5	11	-16
全社	-	-	-
合計	121	144	-23

※4 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2024年度3月期 通期連結業績予想 (2024年2月8日時点)

事業別売上高

(単位:億円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 前回予想(2023/11/8)	2024年3月期 今回予想(2024/2/8)	対前年度	対前回予想		
※ ヘルスケア	9,286	9,700	9,700	414	+4.5%	-	-
メディカルシステム	6,218	6,500	6,500	282	+4.5%	-	-
バイオCDMO	1,942	1,950	1,950	8	+0.4%	-	-
LSソリューション	1,126	1,250	1,250	124	+11.0%	-	-
※ マテリアルズ	6,820	6,950	6,870	50	+0.7%	-80	-1.2%
電子材料	1,806	2,000	1,950	144	+8.0%	-50	-2.5%
ディスプレイ材料	701	750	750	49	+6.9%	-	-
他高機能材料	893	900	900	7	+0.7%	-	-
グラフィックコミュニケーション	3,420	3,300	3,270	-150	-4.4%	-30	-0.9%
ビジネスイノベーション	8,381	8,400	8,300	-81	-1.0%	-100	-1.2%
オフィスソリューション	5,555	5,450	5,350	-205	-3.7%	-100	-1.8%
ビジネスソリューション	2,826	2,950	2,950	124	+4.4%	-	-
イメージング	4,103	4,450	4,630	527	+12.8%	180	+4.0%
コンシューマーイメージング	2,669	2,800	2,980	311	+11.7%	180	+6.4%
プロフェッショナルイメージング	1,434	1,650	1,650	216	+15.0%	-	-
合計	28,590	29,500	29,500	910	+3.2%	-	-
為替							
米ドル	136円	138円	144円	8円安		6円安	
ユーロ	141円	149円	155円	14円安		6円安	

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリスタートしています。

2023/11/8 公表値

営業利益増減分析(通期業績予想 対前回業績予想)

	2024年3月期(通期)		対前回予想	為替	原材料価格	一時費用	オペレーション等
	前回予想 (2023/11/8)	今回予想 (2024/2/8)					
ヘルスケア	1,120	1,120	-	40	-1	-30	-9
※4 マテリアルズ	500	450	-50 -10.0%	20	-1	-	-69
ビジネスイノベーション	780	710	-70 -9.0%	-5	2	-	-67
イメージング	880	980	100 11.4%	35	-1	5	61
全社/連結調整	-380	-360	20 -	-	-	-	20
合計	2,900	2,900	-	※1 90	※2 -1	※3 -25	-64

(単位: 億円)

※1: 為替レート

	前回予想 (2023/11/8)	今回予想 (2024/2/8)
米ドル	138円	144円
ユーロ	149円	155円

※2: 原材料別(半導体影響は除く)

	通期
銀	-1
アルミ	0
他(燃料等)	0
合計	-1

※3: 一時費用明細

(単位: 億円)

	前回予想 (2023/11/8)	今回予想 (2024/2/8)	差異
ヘルスケア	70	100	-30
棚卸資産評価減等(CDMO/LS)	50	70	-20
その他	20	30	-10
マテリアルズ	100	100	-
新規買収会社(電子材料)	35	35	-
体質強化費用(その他高機能材料)	10	10	-
グラフィック/インクジェット等	55	55	-
ビジネスイノベーション	-	-	-
体質強化費用	-	-	-
新ブランド移行費用	-	-	-
イメージング	20	15	5
体質強化費用等	20	15	5
全社	-	-	-
合計	190	215	-25

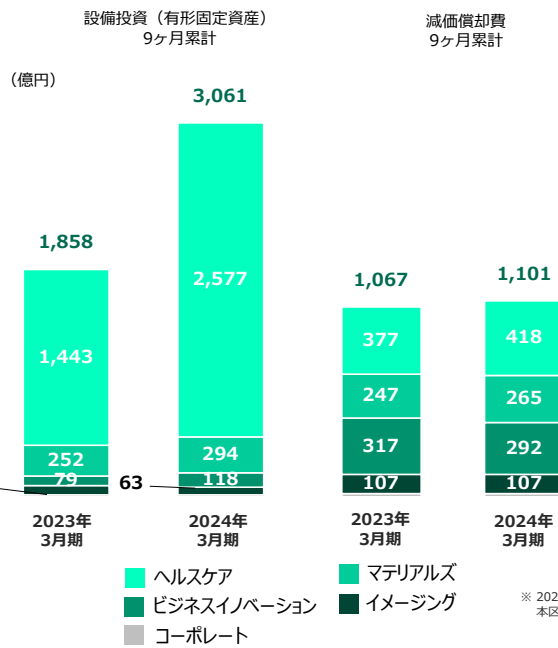
※4 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

国内・海外別連結売上高

(単位：億円)

	2023年3月期 9ヶ月		2024年3月期 9ヶ月		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	34.5%	7,228	34.9%	7,512	284	+3.9%
米州	23.3%	4,881	22.1%	4,770	-111	-2.3%
欧州	15.2%	3,180	15.4%	3,319	139	+4.4%
内、中国	13.6%	2,839	13.8%	2,973	134	+4.7%
アジア他	27.0%	5,654	27.6%	5,953	299	+5.3%
海外	65.5%	13,715	65.1%	14,042	327	+2.4%
合計	100.0%	20,943	100.0%	21,554	611	+2.9%

設備投資 | 減価償却費

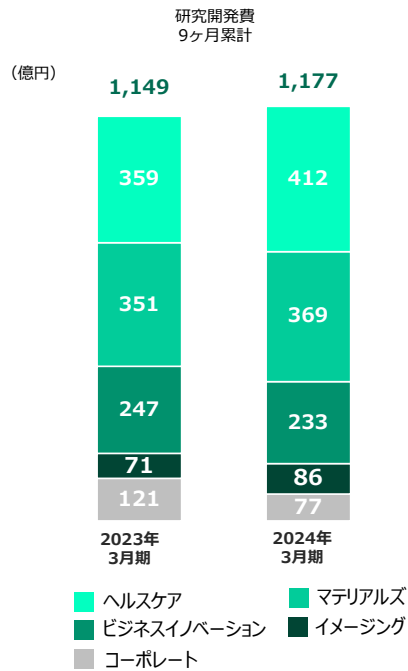


(単位：億円)

年度	3Q		9ヶ月		通期	
	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期 (予想)
ヘルスケア	564	980	1,443	2,577	2,199	3,550
マテリアルズ	100	127	252	294	446	680
ビジネスイノベーション	26	45	79	118	126	120
イメージング	31	21	75	63	96	120
コーポレート	4	3	9	9	16	30
設備投資（有形固定資産）	725	1,176	1,858	3,061	2,883	4,500
ヘルスケア	32	25	94	105	171	150
マテリアルズ	10	17	48	47	62	60
ビジネスイノベーション	49	107	355	248	479	280
イメージング	6	10	31	30	47	50
コーポレート	10	4	26	30	32	60
設備投資（ソフト、レンタル資産他）	107	163	554	460	791	600
ヘルスケア	128	151	377	418	505	560
マテリアルズ	80	86	247	265	328	350
ビジネスイノベーション	109	100	317	292	422	420
イメージング	36	39	107	107	141	150
コーポレート	6	7	19	19	26	30
減価償却費	359	383	1,067	1,101	1,422	1,510

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリスタートしています。

研究開発費 | 販売費及び一般管理費



(単位：億円)

年度	9ヶ月		通期	
	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期 (予想)
ヘルスケア	359	412	490	
マテリアルズ	351	369	464	
ビジネスイノベーション	247	233	331	
イメージング	71	86	95	
コーポレート	121	77	161	
研究開発費	1,149	1,177	1,541	1,650
<売上高比>	5.5%	5.5%	5.4%	5.6%
販売費及び一般管理費	5,243	5,522	7,107	
<売上高比>	25.0%	25.6%	24.8%	

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリスタートしています。

為替 | 原材料 | 人員

為替

(単位：円)

	2023年3月期					2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
米ドル	130	139	141	132	136	138	145	148	144	144
ユーロ	138	139	144	142	141	150	157	159	156	155

為替感応度 1円の変動による影響 (年間)

	売上高	営業利益
米ドル (1円あたり)	50億円	6億円
ユーロ (1円あたり)	15億円	8億円

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

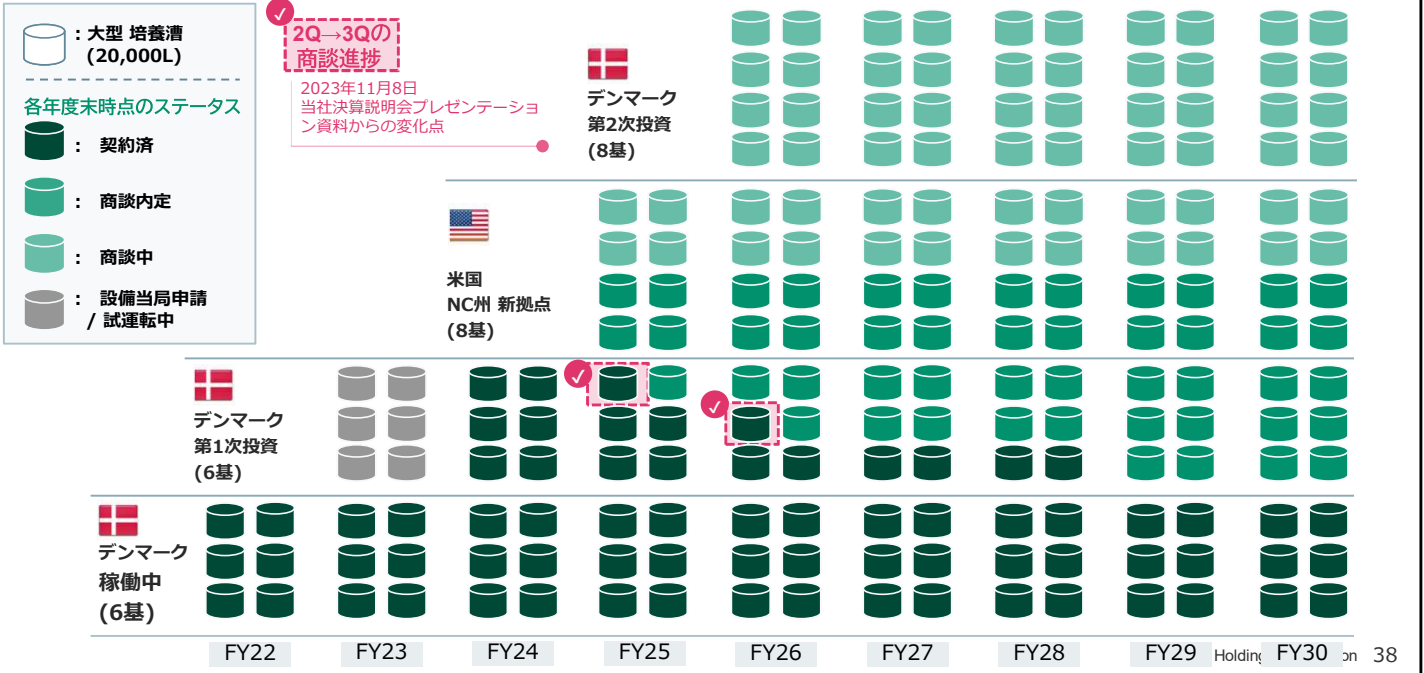
	2023年3月期					2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
銀	95	86	94	97	93	106	110	111	108	108

人員

(単位：人)

	2022.9末	2022.12末	2023.3末	2023.6末	2023.9末	2023.12末
連結	75,090	74,491	73,878	73,583	72,909	72,950

バイオCDMO | 大型製造設備の商談進捗状況



パイプライン(2024年2月8日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）治療薬	経口	日本	承認申請中
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-10832	進行性固形がん治療薬（ゲムシタピンリボソーム）	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬（トボデカンリボソーム）	注射	米国	Ph I

※ T-817MA：開発中止のため、パイプライン表より削除

参考情報

- **富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>
- **富士フィルムホールディングス 統合報告書2023**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>
- **IR資料室**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>
- **富士フィルムグループ事業概要**
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/business-overview.html>
- **富士フィルムグループ90周年特設サイト**
<https://holdings.fujifilm.com/special/90th/ja/>

FUJIFILM
Value from Innovation

90th
そして
その先の
未来へ
100

